



第86回定期地方本部大会

利用者の安全と移動の自由を守る闘いを

地方本部運動を前に進めていこう

国労岡山地方本部は、9月14日に「りぶら」において、第86回定期地方本部大会を開催し、一年間の闘いの総括を行い、JRの安全確保、労働条件改善、組織強化・拡大、25春闘、ローカル線廃止反対、平和を守る闘い等この一年間の具体的方針を確立した。そして、組織の強化・拡大に向けて奮闘することを誓い合った。



議長 三宅代議員

第86回地方本部大会は、片岡副委員長の司会ではじまり、代議員12名中11名の出席で大会が成立し、議長には三宅代議員（岡山連合）が選出された。

小林地本委員長のあいさつで始まり、来賓あいさつでは、県労会議山本議長が幹事会の報告・政治問題等が話された。そして、西日本本部大北書記長は、全国大会・西日本大会の報告、組織拡大、ローカル線問題等の情勢が話された。

2024年度 新執行部

執行委員長	小林 靖浩	総括・政治・共闘
副執行委員長	勝田 哲也	業務部長
書記長	青山 准三	企画・総務・財政部長
執行委員	藤江 一成	組織部長
執行委員	小林 裕二郎	教宣部長・調査部長
会計監査委員	西原 浩	
会計監査委員	岡本 岩夫	

議題に入り一年間の経過報告を片岡副委員長が報告し、組織検討委員会答申、24年度運動方針（案）を青山書記長が提案した。

方針案の討論は、6名の代議員が発言し、職場問題、



今大会で退任
片岡副委員長・亀高執行委員 お疲れさまでした

春闘、組織拡大、ローカル線問題等の発言があった。

書記長集約ではローカル線を守る闘い、駅の無人化反対、25春闘、組織強化・拡大等を集約とし、採択された。

そして、決算・予算の提案がされ承認された。

役員改選では無投票当選を確認し、その後、「大会宣言」が採択された。最後に小林新委員長の団結ガンバローを行った。

小林地本委員長あいさつ



導による廃止をも視野に入れた動きになっている。一度失われた鉄路は復活させることは不可能です。この闘いを全国統一闘争と明確に位置付けた具体的な闘いを強く求める。

安全・公共交通を守る課題

大幅な組織の統廃合による要員削減、駅の無人化、列車減便などが矢継ぎ早に進められている。

地本としても、現状の中でできる事を奮闘していきたい。

組織強化・拡大

大元駅の窓口閉鎖を行うとしています。岡山支社管内で窓口を明けている駅はわずか6駅になった。利益だけを重視した施策は利用者の安全や利便性を軽視するものであり、公共交通を担うという姿勢はありません。

これまで培った国労運動を継承し次世代にその運動と組織を残して残していくために奮闘していきたい。同時に組織を増やさなければ運動が継承されません。改めて「動きなくして拡大なし」を全体のものとして、継続してやっていく中で、信頼関係を形成していく必要がある。

鉄路を守る闘い

芸備線の「再構築協議会」が設置された。国主

地方本部としても「みなさんとともに考えながら地方本部運動を前に進めていく」そして、少数でも「動いて声を上げていく」を確認して、ともに頑張ろう。